

デジタル教科書×デジタルペン活用研究会  
in 東京  
～デジタル教科書×デジタルペンがもたらす未来の教育～

日本デジタル教科書学会  
2013年11月1日(金)



デジタルペンとは？

研究会開催の背景

デジタル教科書の導入

- 教科書のデジタル化
- 一人一台タブレット
- 教科書が変わる
- では、ノートは？



ノートはどうする？

- デジタル教科書と統合？
- 紙との併用？
- 韓国ではデジタル教科書と一体化



海外のように一体化？

- 海外との違い
  - 欧米はタイピング文化
  - 日本語は2バイト文字
- ノートに関する研究は不足

## メディア特性

- 紙とタブレット
- ノートテイキングについて比較研究したものは少ない
- 実践的な研究はこれから

## 実践から見てきたもの

菊地・赤堀ら2012、2013

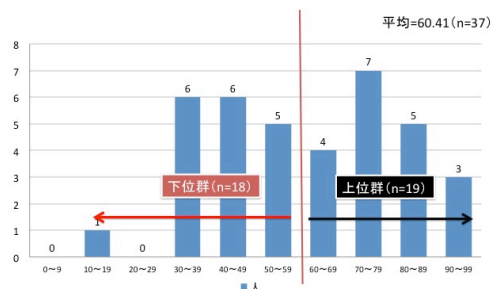


## 視写能力テスト



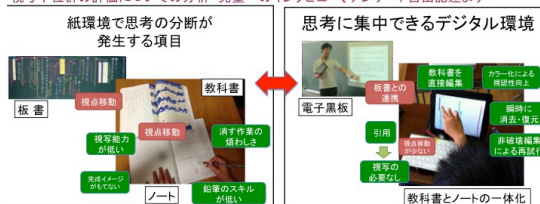
## グラフ1 視写能力測定テストの結果

紙環境による記入正答文字数 (テスト時間=2分間)



子供たちにとっての  
メディア比較のポイント  
→思考の分断の有無

視写下位群の評価についての分析 児童へのインタビュー、アンケート自由記述より



視写上位群に対するインタビュー

児童A:  
「一文字抜けてたとかは、(紙で修正する方がミスなくできるので)よい」  
児童B:  
「(iPad)は、教科書と(ノートを)比べられなかったことが大変だった」  
「参考にする時に、(ノートの記述)からすぐ戻ったりしなきゃならなかった」

児童C:  
「(紙の)ノートは字をきれいに書けたり、自分の力で考えられる」  
「(紙の)ノートで書いてる方が頭に入っている感じがする。iPadのほうが楽だけど。」  
児童D:  
「自分の考えでは、消しゴムとか使わないで鉛筆でバツバと書ける。iPadのほうがキーを打ったり(操作する分)遅くなるから、紙と鉛筆でやったほうが速い」

